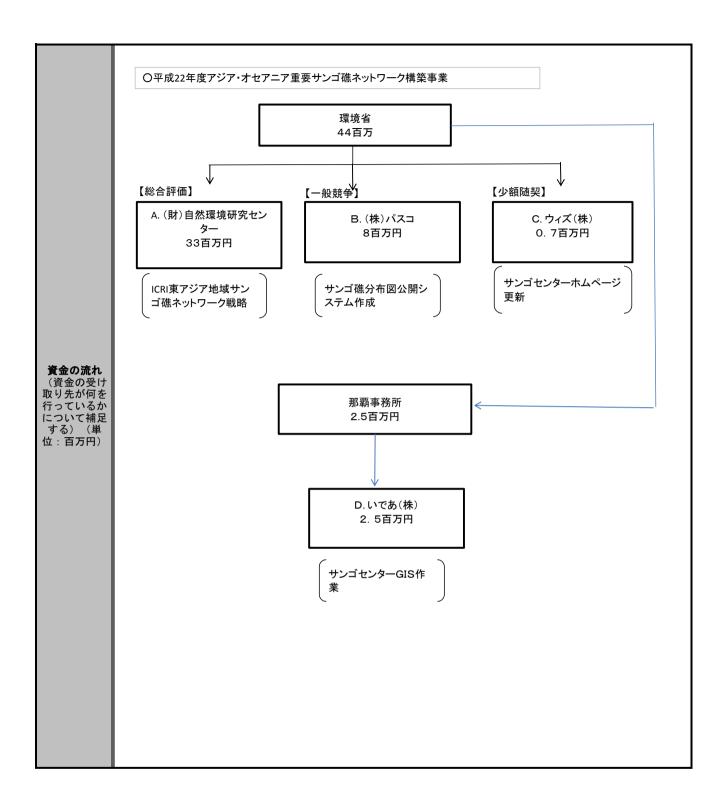
事業番号 1

						事業番	<u>号</u>	156	
		平成23	年行政	事業し	ノビューシ -		(環均	6省)	
事業名	アジア太平洋地域生	物多様性保全推進費	担当	部局庁	É	1然環境局		作成責任者	
事業開始 • 終了(予定) 年度	昭和5	7年度	担当	課室	野	環境計画課 生生物課 立公園課		課長 塚本瑞天 課長 亀澤玲治 課長 上杉哲郎	
会計区分	一般	会計	施:	策名	5–1	基盤的施策の 5-3 野生生			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-	関係する通	る計画、 知等	海洋基本計画 2010	、21世紀環境立	国戦略、生	物多様性国家戦略	
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	アジア太平洋地域におい握、地域の実情に合った く保護地域作業計画の推	保全管理手法及び普	及啓発手法0)確立、	我が国と他国との	間を渡る渡り鳥の	の保全、生物		
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	の開催を行う。 ②ラムサール条約湿地の て採択された「水田決議 ため我が国の湿地におり つトリ、日中間を渡るズク ④アジア各国の保護地域	ラムサール条約湿地の保全管理状況をモニタリングするとともに、ラムサール条約第10回締約国会議(平成20年10月開催)におい採択された「水田決議」の履行促進のために事例収集等を行う。アジア地域の渡り経路全体の渡り性水鳥の個体数変化を把握するめ我が国の湿地におけるガンカモ類のモニタリングを行う。 沙米国、豪州、中国、ロシア、韓国との間で二国間渡り鳥条約・協定等会議を開催するとともに、日口を渡るオオワシ、日米を渡るアホドリ、日中間を渡るズグロカモメ等の共同事業を行う。 シアジア各国の保護地域についてデータ収集の基準を整理する。また、その結果を元に保護地域に関する情報を収集・整理すること、各保護地域の管理状況等に関する情報共有を図り、各国の保護地域間での適切なパートナーシップ構築を推進する。							
実施方法	■直接実施	■業務委託等	口補助		□貸付	口その他			
		20年度	21年度	·	22年度	23年	- 度	24年度要求	
	当初予算	123	269		134	10)4	70	
	算 補正予算	0	0		0	0)		
予算額 · 執行額	状 繰越し等	0	0		0	0)		
(単位:百万円)	計	123	269		134	10)4	70	
	執行額	113	196		114				
	執行率(%)	92	73		85				
)成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	アジア・太平洋地域のサ 公開について、作成手派成、公開システムの開発	まの検討、分布図の作	乍 一成里宝約	責	-	-	-	-	
	渉を表わせない。 また、ICRI東アジア地域 ワーク戦略の策定・推進 推進については、定量的	サンゴ礁保護区ネッ	- -	%	-	-			
	②(アジア地域における		進	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	ラムサール条約の締約 し、国際的に減少していなお、湿地保全に資する	る湿地の保全を図る		責	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績	時々の国内外の状況にめられるため、定量的にい。	応じた適切な対応が		%	-	-	-		
(アウトカム)				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	特に二国間における渡り換、保全活動プログラムめ、国境を越えて移動す	、の考案、推進等を進	成果美統	責	-	_	_	_	
	る。なお、相手国との関 に事業を進める必要がるものではない。	係等の中で、臨機応	変	%	-	-	_		
		指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	アジアの保護地域のデー 保護地域の管理状況等 と、アジアでのパートナー 定量的に評価できない。	に関する情報の収集 ーシップの構築の推議	成果実統	責	-	-	-	-	
			達成度	%	_	_	-		
)活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	サンゴ礁分布図公開ショ ICRI東アジア地域サンコ 戦略の策定に向け関係 集、検討等を実施するたけでは示せない。	『礁保護区ネットワー 機関との調整、情報	ク 活動実績		-	-	_	-	

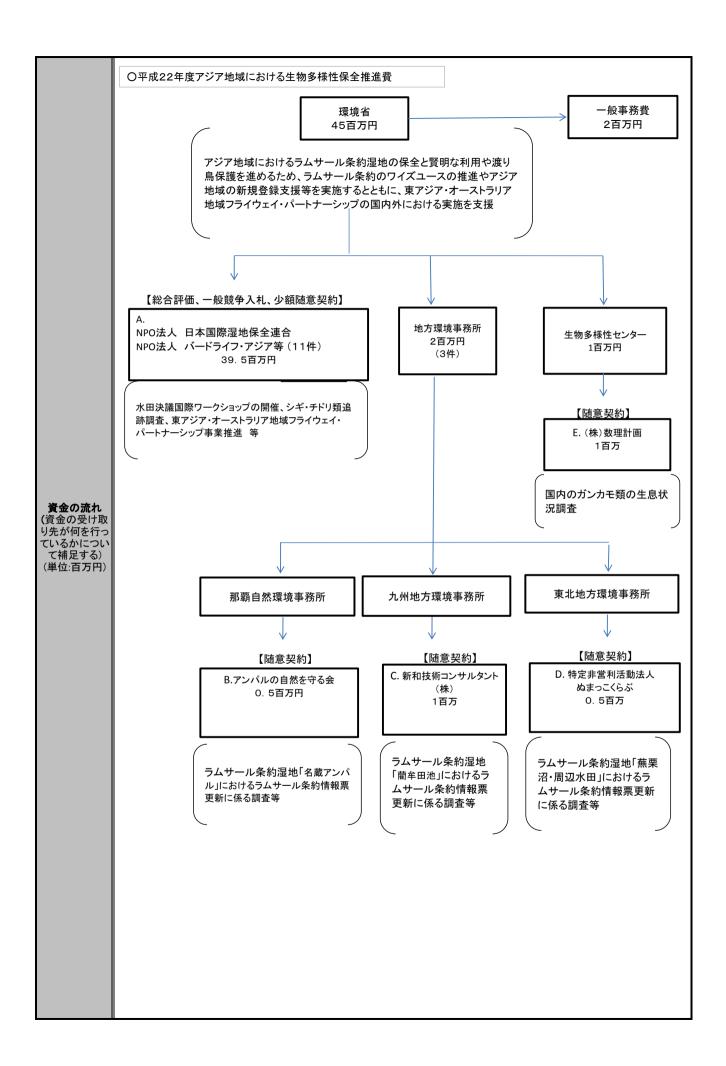
		②(アジア地域 費)指標	咳における生物	多様性保全推進		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見辺
		要生息地調査	上、ラムサール条	の開催、渡り鳥重 終約情報票更新、[家派遣等の実施	活動実績		-	-	-	-
江 縣:	指標及び	条約締約国等 質的に高める 示すことがで	活動であり、定 きない。	たすための能力を 量的な活動指標に	t					
活	旧保及い 動実績 小プット)	③(アジア地域動指標	域渡り鳥国際共	同研究推進費)活		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見辺
		で、相手国と		き行っている活動 めているため、定 できない。	活動実績 (当初見込 み)		-	-	-	-
		④(アジア保証 活動指標	護地域パートナ-	ーシップ構築事業		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見辺
				ナーシップの構築 では活動指標を示			-	-	-	-
	と当たり コスト		円(/)	算出根拠	'				1
平	Ī	費 目	23年度当初予算	24年度要求			主	な増減理由		
成。	①アジア・	オセアニア重要	サンゴ礁ネットワ	一ク構築事業						
2 3	自然環境	竟保全調査費	42	22						
	②(アジア	地域における生	物多様性保全推	進費)						
2	自然環境	竟保全調査費	44	37	W	51 / 1 / T = -	* <i> </i>	==+# ==+	Mr	- ht- \-t-
4	③(アジア	地域渡り鳥国際	L K共同研究推進費)	他国との役割	割分担及(人件費・現地	!調査等の見直し	,等による経費	の節減
年度	自然環境	意保全調査費	19	11						
予	④(アジア	保護地域パート	L ・ナーシップ構築事	 業)活動指標						
算		竟保全調査費	0	0						
内		計	104	70						
訳	<u> </u>	н			と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	- よる占給				
	評価				KIN B HP/MI	-0.01112		特	記事項	
算目	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
の的										
状・	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
況予	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
咨	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
費金	_	単位あたりつ	ストの削減に怒	めているか。そのは	水準け妥当:	<u></u>				
目の				V-10× -1	• •					
庙流		+	担関係は妥当			- .				
・流・流・途れ、				支出は合理的なも	-					
	0	+		,真に必要なものに		いるか。				
	0	他の手段と比	と較して実効性の)高い手段となって	こいるか。					
活			向上している	か。						
	0	適切な成果目	目標を立て、その	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
	O -									
活動実績 、	O - -	活動実績は見	見込みに見合った		な割分担とな	なっているだ)\°			
	_ 	活動実績は見 類似の事業が	見込みに見合った ある場合、他部局	たものであるか。 か他府省等と適切な		なっているだ)\ ₀			
果実績、	_ _ _ O	活動実績は見 類似の事業が 整備された施	見込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物は-	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されて	いるか。			·データの 入 毛 ケ	- を厳選し コス	トパフォーマン
果実績、	①につい - -	活動実績は見類似の事業が整備された施て、現地調査の	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物はこの代わりに衛星	たものであるか。 か他府省等と適切な	いるか。 とで人件費を	上削減した	とともに、画像			
果実績、成	ー O ①につい スの高い ジとReefl	活動実績は見 類似の事業が 整備された施 て、現地調査の 画像(ALOS)を Baseホームペー	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物は- の代わりに衛星 を使用することで ージ上で行ってし	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されて 画像を使用するこ 効率の良い事業、 いるが、さらに学会	いるか。 とで人件費をとなった。サン は話などで周	を削減した ンゴ研究者 知をするこ	とともに、画像 すへの周知をほことにより利用	国際サンゴ礁イ= が増えるものと	ニシアティブ(IC 思われる。また、	RI)ホームペー アジア太平洋
果実績、成	- O ①につい スの高い ジとReefl 地域のサ	活動実績は見 類似の事業が 整備された施 て、現地調査の 画像(ALOS)を Baseホームペー	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物は- の代わりに衛星 を使用することで ージ上で行ってし	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されて 画像を使用するこ ・効率の良い事業	いるか。 とで人件費をとなった。サン は話などで周	を削減した ンゴ研究者 知をするこ	とともに、画像 すへの周知をほことにより利用	国際サンゴ礁イ= が増えるものと	ニシアティブ(IC 思われる。また、	RI)ホームペー アジア太平洋
果実績、成	- 〇 ①につい スの高い ジとReefl 地域のサ あった。	活動実績は見類似の事業が整備された施で、現地調査で画像(ALOS)をBaseホームペーンゴ担当の政	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物は一の代わりに衛星 を使用することで 一ジ上で行っても 所職員と研究者	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されて 画像を使用するこ ・効率の良い事業 いるが、さらに学会 でを一堂に会して単	いるか。 とで人件費を となった。サ 読誌などで周 战略策定を行	を削減した ンゴ研究者 知をするこ ったことに	とともに、画像者への周知をほとにより利用は、メールベー	国際サンゴ礁イニ が増えるものとに スでは実現でき	ニシアティブ(IC 思われる。また、 ない合意形成 <i>0</i>	RI)ホームペー アジア太平洋)ために必要で
果実績、成点	ー 〇 ①につい スの高い ジとReeff あったつい のあり方	活動実績は見類似の事業が整備された施で、現地調査で画像(ALOS)をBaseホームペーンゴ担当の政で、ラムサールに係る普及啓	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物はの代わりに衛星 を使用することで 一ジ上で行ってし 所職員と研究者 レ条約の管理当 発 3.登録湿地の	たものであるか。 が他府省等と適切な 十分に活用されて 画像を使用するこ 診効率の良い事業会 いるが、さらにご学会 でを一堂に会して単 局等としての主たの が、次表	いるか。 とで人件費をとなった。サミ 誌などで周 战略策定を行 る責務として いられている。	を削減した シゴ研究者 知をするこったことに 、1.登録海 。また、締	とともに、画像音への周知を見とにより利用は、メールベー ひりろくだい ひりん はいがん かいがん ひりん でいました いいがん かい いい かい いい かい いい いい いい いい いい いい いい いい	国際サンゴ礁イニが増えるものとほえでは実現できた。 スでは実現できた。 Lース、保全推進択された決議等	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進についっ	RI)ホームペー アジア太平洋 かために必要で の必要性や保全 て、決議を踏ま
果実績、成点検結	ー 〇 ①につい スのとReefl 地域った のありっ のありっ	活動実績はり類似の事業が整備された施て、現地調査で画像(ALOS)をBaseホームペーンゴ担当の政で、ラムサールに係る普及の関クショップの開	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物はの代わりに衛星を使用することで が開発していた。 所職員と研究者 と、の管理との管理と の管理地の 発 3.登録にて、 を 後 3.登録にて、 を を のに、 の を の の の の の の の の の の の の の の の の の	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されて 画像を使良いにです。 ・	いるか。 とで人件費を となった。サ: 誌などで周 战略策定を行 る責務として いる。 していく必要	と削減した シゴ研するこ 知をするこったことは 、1.登録締っ。また、統あるたる	とともに、画像 をともに、画像 ことにより利用 は、メールベー 退地のワイズニ 数地の気養続きま め、引き続きま	国際サンゴ礁イニが増えるものと見なるといるでは実現できない。 スでは実現できない。 と一ス、保全推進択された決議等 でいるが必要がある。	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成 <i>0</i> 2.湿地保全 <i>0</i> の推進についっ 要である。なお、	RI)ホームペー アジア太平洋 ために必要で の必要性や保全 て、決議を踏ま 業務の実施に
果実績、成点検結	ー 〇 ①につい スのとReefl 地域のも あったつい のたたいい えたってい	活動実績は見類似の事業が整備された施で、現地調査で画像(ALOS)をBaseホームペーンで、ラムサ及内で、ある普ブの関に係る普ブの関は、環境省職員	記込みに見合った ある場合、他部局 設や成果物はでの代わりに高いていることでは、 ではいることでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たものであるか。 か他府省等と適切な 十分に活用されて 画像をの良らにて 動像率の、さに会して を対して を対して の主なが になって に握が になって が状況と共に に実施方法等に	いるか。 とで人件費を となった。サ: 誌などで周 战略策定を行 る責務として いる。 していく必要	と削減した シゴ研するこ 知をするこったことは 、1.登録締っ。また、統あるたる	とともに、画像 をともに、画像 ことにより利用 は、メールベー 退地のワイズニ 数地の気養続きま め、引き続きま	国際サンゴ礁イニが増えるものと見なるといるでは実現できない。 スでは実現できない。 と一ス、保全推進択された決議等 でいるが必要がある。	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成 <i>0</i> 2.湿地保全 <i>0</i> の推進についっ 要である。なお、	RI)ホームペー アジア太平洋 ために必要で の必要性や保全 て、決議を踏ま 業務の実施に
果実績、成点検結	一 〇 ①につ高い ジ域ったのり のたたっい のたたい があってい のたか、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが	活動実績は見類似の事業が整備された施で、現地調査で画像(ALOS)をBaseホームの政で、気を関するでは、ラムサフを開またのでは、現地では、現地では、アイン・環境を開います。	記込みに見合った。 ある場合、他部に設けている。 設けたりにでは、 の代わりにこってででいる。 をしているでは、 がでは、 のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たものであるか。 か他府省等と適切な 十分に活用されて 画像をの良らにて 動像率の、さに会して を対して を対して の主なが になって に握が になって が状況と共に に実施方法等に	いるか。とで人件費をとなった。サミ誌などで周にまなどで周の表別である責務としている。していく必要していて協議していて協議していて協議していて協議していて協議していては	を削減したれることによったことに、1.登録締たるがのつという。からの進めた。	とともに、画像 をともに、画像 ことにより利用 は、メールベー は、アールベー は、アー、 は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アー、 は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー は、アールベー	国際サンゴ礁イニが増えるものと見なるものと見なる。 とれては実現できない (保全推進) けい はい	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進についっ 要である。なお、 的等に対応し、	RI)ホームペーアジア太平洋からために必要でかいます。 の必要性や保全で、決議を実施に業務の実施に、 推進していくた
果実績、成点検結	一 〇 ①につ高い で で で で で の で の る に つ り り り っ っ っ の る り り っ っ っ っ り っ っ っ ら っ ら っ ら っ ら っ ら っ	活動実績は見類似の事業が整備された施で、現地の事業がでいた。 整備された施で、現地の高さのでは、現地の高さのでは、現地の高さのでは、現地ののでは、このでは、現地ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	記込みは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されるこ。 ・物を使良いには 画像をのなが、一点ないでは をいるが、では 一般を変のが、では 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変える。 のため、でも効果の においても効果の においても効果の	いるか。とで人件費をとなった。サはなどでを見ない。 となった。サは成略 意称にいる。 きれている。 しついて 協議 渡渡 変変を表している。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 と	を削減研するとは、 はたるという はたれる という はっこう はっこう はっこう はっこう はい はいい はんしん はいい はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	とともに、知を見るという。 さいの思りれべいでは、知知の一では、メールの会議を含め、引きのでは、メールの会議を含め、いる。を進めている。を進め、でいる。を進め、でいる。を進め、のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	国際サンゴ礁イニが増えるものと思えては実現できれた決議を出て、保全推進択された決議等きまるの継続が必要もラムサール条約に、保全に反映された、	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要で等に対応し、 ないない。 というではないない。 というではないない。 というではないない。	RI)ホームペー アジア太平洋 かかに必要で か必要性や保全 て、決議の実施に 業務の実施に 推進していくた 。業務実施に
果実績、成点検結	一 〇 ①につ高いでは であるでは のの であり での が、 での が、 での が、 での が、 での が、 での がっ での が、 での が、 での が、 のっ での が、 のっ でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	活動の事業に 類似の事業に を、現の事業に で、現の事業に で、現の事のでででででででででである。 では、現立のでででででででできる。 では、現立ででででできる。 では、現立でででできる。 では、現立でででできる。 では、現立では、でででででできる。 では、また。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	記込みは、 記込みは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にこのでは、 にいるでは、	たものであるか。 が他府省等とある適切な 十分に活用まされる。 一般率ののであるが。 一般率ののであるが、 一般率のであるが、 一般率のであるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般で表して、 一般であるか。 一般であるから、 一般で表して、 一般で表して、 一般で表して、 一般で表して、 一般であるから、 一般で表して、 一般で表して、	いるか。とで、というのとでないます。というのとでないます。 きんいい はいい はい できる いい はい できる いい はい できる といい はい できる といい はい できる といい はい は	を削減研するとは、 がついまたを、 がついまた。がついまでである。 は、これでは、 は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	とともに、知知のは、知知のは、知知のは、知知のは、とにより、というでは、知知ののは、知知ののは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	国際サンゴ礁イニが増えるものと思いでは実現できれた決議務の継続が必要ものと、保全推進択された決議が必要もラムサール条。 保全に 反映させ 果を元に保護地	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要である。なお、 約等に対応し、 せる必要がある すの管理状況等	RI)ホームペー アジア太公 アジア太必 の必要性や保全 て、決務の実に 業務のていくた 。業務実施に 等に関する情報
果実績、成点検結	ー 〇 ①にあるReeff 地域たつりワっと のたたが、にたっていま のにありている。い方ーで要いていま ・動では、はでいる。 ・動では、い方ーでである。	活動の本たを 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変	記込み場合のでは、 記込み場合のでは、 には、 には、 はいるでは、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	たものであるか。 ・他府省等と適切な 十分に活用されるこ。 ・物を使良いには 画像をのなが、一点ないでは をいるが、では 一般を変のが、では 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変のです。 一般を変える。 のため、でも効果の においても効果の においても効果の	いるか。とで、というのとでないます。というのとでないます。 きんいい はいい はい できる いい はい できる いい はい できる といい はい できる といい はい できる といい はい は	を削減研するとは、 がついて、またあつのでも、 はいなるとは、 はいなるとは、 はいなるとは、 はいないととは、 はいないととは、 はいないととは、 はいないととは、 はいないないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないとは、 はいないないとは、 はいないないないとは、 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	とともに、知知のは、知知のは、知知のは、知知のは、とにより、というでは、知知ののは、知知ののは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	国際サンゴ礁イニが増えるものと思いでは実現できれた決議務の継続が必要ものと、保全推進択された決議が必要もラムサール条。 保全に 反映させ 果を元に保護地	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要である。なお、 約等に対応し、 せる必要がある すの管理状況等	RI)ホームペー アジア太公 アジア太必 の必要性や保全 て、決務の実に 業務のていくた 。業務実施に 等に関する情報
果実績、成点検結	ー 〇 ①にあるReeff 地域たつりワっと のたたが、にたっていま のにありている。い方ーで要いていま ・動では、はでいる。 ・動では、い方ーでである。	活動の事業に 類似の事業に を、現の事業に で、現の事業に で、現の事のでででででででででである。 では、現立のでででででででできる。 では、現立ででででできる。 では、現立でででできる。 では、現立でででできる。 では、現立では、でででででできる。 では、また。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	記込み場合のでは、 記込み場合のでは、 には、 には、 はいるでは、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	たものであるか。 が他府省等とされる。 が他府名時代に一直像をのされる。 が他のにでするが、 一面像をのいるが、 一面のでするが、 一面のでは、 一面のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位	いるか。とで、というのとでないます。というのとでないます。 きんいい はいい はい できる いい はい できる いい はい できる といい はい できる といい はい できる といい はい は	利ができた。 削減研すこ、金がついい。 した名さに、 はたあった。 がのは、 はたあった。 はたまあった。 はたまあった。 はたまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	とともに、知知をといる。 は、知知のは、知知の会に、知知の会に、知知の会に、知知のの会に、知知のない。 は、此のの会に、ない。 は、ない。 は	国際サンゴ礁イニが増えるものと思いでは実現できれた決議務の継続が必要ものと、保全推進択された決議が必要もラムサール条。 保全に 反映させ 果を元に保護地	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要である。なお、 約等に対応し、 せる必要がある すの管理状況等	RI)ホームペー アジア太公 アントめに、 アントのと アントの アントの アントの アントの アンと アントの アントの アントの アントの アンと アンと アンと アンと アンと アンと アーと アンと アンと アンと アンと アンと アと アンを アと ア アと アンと アと アと アと アンと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと
果実績、成点検結	ー 〇 ①にあるReeff 地域たつりワっと のたたが、にたっていま のにありている。い方ーで要いていま ・動では、はでいる。 ・動では、い方ーでである。	活動の本たを 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変	記込み場合のでは、 記込み場合のでは、 には、 には、 はいるでは、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	たものであるか。 が他府省等とされる。 が他府名時代に一直像をのされる。 が他のにでするが、 一面像をのいるが、 一面のでするが、 一面のでは、 一面のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位	いるか。とでから、とでから、とでから、とでから、となった。できたなな策をしたいでできたいいが、できたいが、は、できををしていいがある。というのは、いるのは、いるのは、いるのは、いるのは、いるのは、いるのは、いるのは、いる	利ができた。 削減研すこ、金がついい。 した名さに、 はたあった。 がのは、 はたあった。 はたまあった。 はたまあった。 はたまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	とともに、知知をといる。 は、知知のは、知知の会に、知知の会に、知知の会に、知知のの会に、知知のない。 は、此のの会に、ない。 は、ない。 は	国際サンゴ礁イニが増えるものと思いでは実現できれた決議務の継続が必要ものと、保全推進択された決議が必要もラムサール条。 保全に 反映させ 果を元に保護地	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要である。なお、 約等に対応し、 せる必要がある すの管理状況等	RI)ホームペー アジア太公 アントめに、 アントのと アントの アントの アントの アントの アンと アントの アントの アントの アントの アンと アンと アンと アンと アンと アンと アーと アンと アンと アンと アンと アンと アと アンを アと ア アと アンと アと アと アと アンと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと
果実績、成点検結果	O ついいいでは、いちしています。 一 O ついのでは、いちしていいでは、いちしていいでは、いちしていいでは、いちしていいでは、いちしていいます。	活動の本れた査信を表す。 類似のされた査信を表す。 大きのでは、個人のでは、個人のでは、個人のでは、個人のでは、個人のでは、個人のでは、個人のでは、のでは、のでは、のでは、では、では、では、では、できれるでは、できれるでは、できれるでは、できれるのでは、できれるでは、できれるでは、できれるでは、できれるでは、できないできないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	記込みは ある場ででは たいでは、 たいでは、 たいでは、 たいでは、 たいでは、 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 でと、 では、 のでと、 では、 のでと、 では、 ののでと、 では、 のののでは、 では、 では、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たものであるか。 が他府省等とされる。 が他府名時代に一直像をのされる。 が他のにでするが、 一面像をのいるが、 一面のでするが、 一面のでは、 一面のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでする。 一位のでは、 一位のでする。 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位のでは、 一位	いるか。とで、大きなどで、大きなどで、大きなが、一般で、大きなが、大きなができない。 かん でいい はい かん はい	を削ぶでするとは、活がつり施生はに、またる進いといる。かつり施生はに、またのでであるすり、またのでであるすり、ないとるのであるすり、といるとのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	とともに周りに、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、いいのは、は、地の国のでは、ないのは、は、地の国のでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないのでは、	国際サンゴ礁イニが増えるものと思いでは実現できれた決議務の継続が必要ものと、保全推進択された決議が必要もラムサール条。 保全に 反映させ 果を元に保護地	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地保全の の推進について 要である。なお、 約等に対応し、 せる必要がある すの管理状況等	RI)ホームペー アジア太公 アントめに、 アントのと アントの アントの アントの アントの アンと アントの アントの アントの アントの アンと アンと アンと アンと アンと アンと アーと アンと アンと アンと アンと アンと アと アンを アと ア アと アンと アと アと アと アンと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと アと
果実績、成点検結果	Oついいでは、 のついには、 のこのでは、 のこのでは、 のたたい、 のたに、 のたに、 のたに、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが、 のたが	活動のでは、 類似が、 を、現(ALOS)を の事、相、は、のでは、 の事、は、のでは、 の事のでは、 ののでは、	記込みは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	たものであるか。 が他府省等とされる。 が他府活用用す事される。 が他府活を使した。 を等いるが、立にして握い。 は、主に、のがに共力が、でもない。 は、主に、のがに共力が、でもない。 にない、でもないで、コリーのにおいで、これが、でいたが、では、これが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいた	いるか。とで、たいので、といるか、といって、といった。でをした。でを表れいて、ないので、といいので、といいので、はいいで、をいいので、はいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいで、は、いいでは、い	というない はいとる はいとる はいとる はいとる はいとる かんした はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる	とともに周りに、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知识に、知知のでは、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に	国際サンゴ礁イニが増えるものといいでは、保全推進に、保全推進に、保全機・ののできた。 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地についる。 の推進る。ないのである。 変等にいる。 をいうないがいます。 せるのでないがいます。 はないである。 なのでない。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないでは、 とは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないと、 と。 と、 とないと、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と	RI)ホームペー アジア太公 アジア太必 の必要性や保全 て、決務の実に 業務のていくた 。業務実施に 等に関する情報
果実績、成点検結果	一〇 つ高にのと域のであるのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	活動のでは、 類似が、 を、現(ALOS)を の事、相、は、のでは、 の事、は、のでは、 の事のでは、 ののでは、	記込みは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	たもので、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いるか。とで、たいので、といるか、といって、といった。でをした。でを表れいて、ないので、といいので、といいので、はいいで、をいいので、はいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいで、は、いいでは、い	というない はいとる はいとる はいとる はいとる はいとる かんした はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる かんしん はいいとる	とともに周りに、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知知のでは、知识に、知知のでは、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に、知识に	国際サンゴ礁イニが増えるものといいでは、保全推進に、保全推進に、保全機・ののできた。 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地についる。 の推進る。ないのである。 変等にいる。 をいうないがいます。 せるのでないがいます。 はないである。 なのでない。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないでは、 とは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないと、 と。 と、 とないと、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と	RI)ホームペー アジア太公 アジア太必 の必要性や保全 て、決務の実に 業務のていくた 。業務実施に 等に関する情報
果実績、成点検結果	一〇〇にのとはするにいます。 「このとはすっにあたたいにこの生態をがらい方一で要いています。	活動のではできない。 類似が一般では、 大変を表する。 大変を表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを	記込みは、 ・ は、 ・ にる、 ・ で、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ で、 ・ さ、 ・ で、 ・ さ、 ・ で、 ・ さ、 ・ で、 ・ さ、 ・ で、 ・ で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で	たものであるか。 が他府省等とされる。 が他府活用用す事される。 が他府活を使した。 を等いるが、立にして握い。 は、主に、のがに共力が、でもない。 は、主に、のがに共力が、でもない。 にない、でもないで、コリーのにおいで、これが、でいたが、では、これが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいた	いるか。 とでなか、 とでなな策 意れいて をななな策 意れいて を うらしつ になる を きを というのま、 でを というのま、 でを というのま、 でを というのま、 できを というのま、 できを というのま、 できを というのま、 できを を できる とこの。 できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	りがです。 は、まかっ りが、単に テーケー ない は、まがつ 鳥しす関 ケーケー ないとる のでるす の 点 点 点 にないとる の 原 点 点 にないとる の の 点 点 点 の の の の の の の の の の の の の の	とともに、知知に、 は、いの言とによりのでは、 は、いのの言とによりのでは、 は、いのの言語をはいいでは、 は、いのの言語をはいいでは、 は、いのでは、 は、、 は、に、 は、に、 は、に、 は、に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	国際サンゴ礁イニが増えるものできるま現では、保全推進等では、保全機・大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、大きを、	ニシアティブ(ICI 思われる。また、 ない合意形成の 2.湿地についる。 の推進る。ないのである。 変等にいる。 をいうないがいます。 せるのでないがいます。 はないである。 なのでない。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないである。 はないでは、 とは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでは、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないでも、 とないと、 と。 と、 とないと、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と	RI)ホームペー アジア太公 アジア太必 の必要性や保全 て、決議の実施に 業務のていくた 。業務実施に 等に関する情報



		A (財)自然環境研究センター						
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	人件費		12			(17313)		
	旅費	議長招聘旅費、職員旅費、ICRI東アジア地域ワークショップ参加者招聘旅費等	9					
	印刷製本費	業務報告書、GCRMN東アジア地域現 況報告等	4					
	賃借料	第6回ICRI東アジア地域ワークショップ、CBD COP-10サイドイベント等	1					
	謝金	会議記録作成等、共同議長謝金	1					
	その他	一般管理費、消費税等	6					
	計		33	計		0		
		B.(株)パスコ						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	雑役務費	サンゴ礁分布図公開システム作成	8					
費目・使途 (「資金の流れ」								
においてブロックごとに最大の								
金額が支出され								
ている者について記載する。費								
目と使途の双方 で実情が分かる								
ように記載)								
	計		8	計		0		
		D いであ(株)						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	雑役務費	サンゴセンターGIS作業	2.5			(11/31/1/		
	計		2.5	計		0		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(H)11/			/H\11\		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト

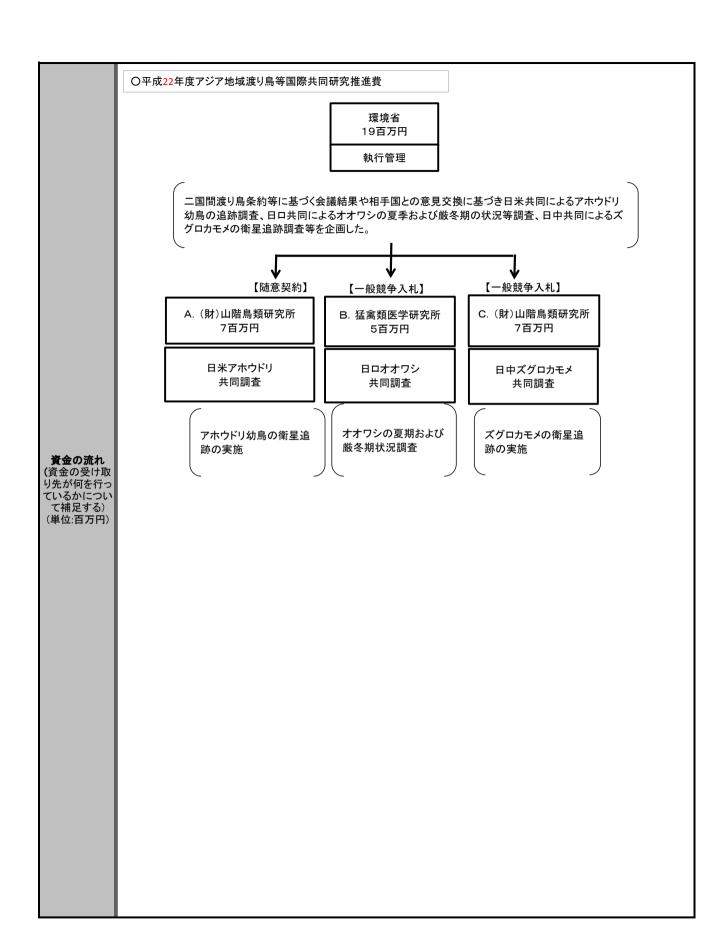
Α.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
	(財)自然環境研究セン ター	ICRI東アジア地域サンゴ礁ネットワーク戦略	33	1	88
В.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	サンゴ礁分布図公開システム作成	8	2	56
C.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ウィズ(株)	サンゴセンターホームページ更新	0.7	少額随意契約	_
D.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額(百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	サンゴセンターGIS作業	2.5	1	99



		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	雑役務費	東アジア・オーストラリア地域フラ イウェイ・パートナーシップの推進	15			
			13			
	計		15	計		
		B.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」						
においてブロッ クごとに最大の						
ただとに最大の 金額が支出されて記載する。使 途と費目がかるで実情がかる	計			計		0
て記載する。使 途と費目の双方		C.	A ##			A 65
で実情が分かる ように記載)	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計			計		0
		D.	全 頞		- <u>.</u> .	全 頞
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	計			計		0

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業 務 概 要	支出額(百万円)	入札者数	落札
1	NPO法人 バードライフ・ア ジア	東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップの推進	15	1	
2	NPO法人 バードライフ・ア ジア	二国間渡り鳥等会議等の開催	7	1	,
3	NPO法人 バードライフ・ア ジア	東南アジアにおける湿地管理の促進	6	1	
4	NPO法人 日本国際湿地保全連合	水田決議国際ワークショップの開催	4	2	
5	(財)山階鳥類研究所	シギ・チドリ類の渡り経路の調査等	3	1	
6	株とフリポート	第2回水田決議国際ワークショップの開催	2	2	
7	(株)オー・エム・シー	ラムサール条約40周年記念事業開催	1	9	
8	(株)ティー・エー・シー	ラムサール条約湿地DVD作成	1	少額随意契約	
9	NPO法人 日本国際湿地保 全連合	第1回国際湿地保全連合理事会専門家派遣	1	少額随意契約	
10	NPO法人 日本国際湿地保 全連合	第2回国際湿地保全連合理事会専門家派遣	0.5	少額随意契約	
В.					
	支 出 先	業 務 概 要	支出額(百万円)	入札者数	落札
1	アンパルの自然を守る会	ラムサール条約湿地「名蔵アンパル」におけるラムサール条約情報票更新に係る調査等	0.5	少額随意契約	
C.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札
1	新和技術コンサルタント (株)	ラムサール条約湿地「藺牟田池」におけるラムサール条約情報票更新に係 る調査等	1	少額随意契約	
D.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札
1	特定非営利活動法人ぬまっこくらぶ	ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」におけるラムサール条約情報票更新に係る調査等	0.5	少額随意契約	
Ε.					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札
1	(株)数理計画	国内のガンカモ類の生息状況調査	1	少額随意契約	



A.(財)山階鳥類研究所 E. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 日米アホウドリ共同調査 雑役務費 7 0 計 計 B. 猛禽類医学研究所 F. 金額(百万円) 金額(百万円) 費目 使 途 費目 使 途 日ロオオワシ共同調査 雑役務費 費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され 計 5 計 0 でには でにいる者につい で記載する。使 途と費目の双方で実情が分かる C.(財)山階鳥類研究所 G. 金額(百万円) 金額(百万円) 費目 使 途 費目 使 途 ように記載) 雑役務費 日中ズグロカモメ共同調査 7 計 0 計 D. H. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 計 計

支出先上位10者リスト A.__

	支 出 先	業務概要	支 出 額(百万円)	入札者数	落札率
1	(財)山階鳥類研究所	アホウドリ幼鳥の衛星追跡の実施	7	随意契約	-

В.

	支 出 先	業務概要	支 出 額(百万円)	入札者数	落札率
1	猛禽類医学研究所	オオワシの夏期および厳冬期状況調査	5	1	95

C.

		支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
ſ	1	(財)山階鳥類研究所	ズグロカモメの衛星追跡の実施	7	1	91

平成22年度アジア保護地域パートナーシップ構築事業

環境省 6百万円

ポスト2010年目標の実現に向け、まずは文化的・自然的条件で 共通するところの多いアジア各国の保護地域について、現状の 知見等のとりまとめを目的とした、PoWPA実施強化のための調 査を実施するもの。

A. (財)自然環境研究センター 5.5百万円

B. (株)サイリック 0.9百万円

ポスト2010年目標の実現に向け、まずは文化的・自然的条件で 共通するところの多いアジア各国の保護地域について、現状の 知見等のとりまとめを目的とした、PoWPA実施強化のための調 査を、文献調査、専門家へのヒアリング調査、現地調査等によ り実施した。

アジア保護地域パートナーシップ構築事業を 行うにあたり、自然公園法等の英文を資料の 一部として使用するため、翻訳を行った。

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)

金額(百万円) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) アジア保護地域パートナーシップ 構築事業 雑役務費 5.5 計 6 計 0 В. F. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。使 途と費目の双方 で実情が分かる ように記載) 計 0 0 計 C. G. 金額(百万円) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) 0 計 0 計 D. Н. 金額(百万円) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) 計 0 計 0

支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	アジア保護地域パートナーシップ構築事業費	5.5	1	61.9

В.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイリック	アジア保護地域パートナーシップ構築事業費に係る資料作成業務	0.9	少額随意契約	_